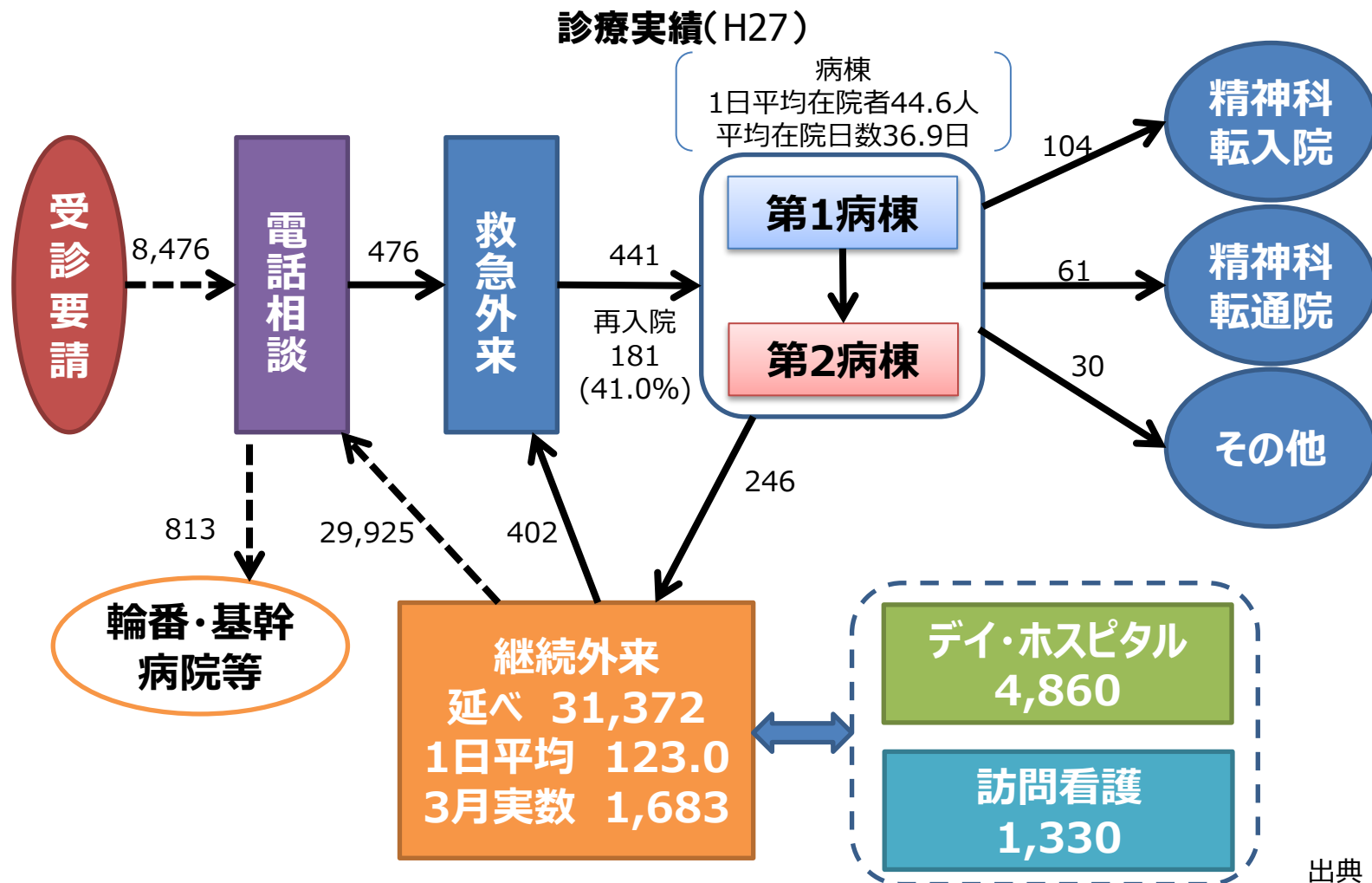


IV.千葉県精神科医療センター

1) 精神科医療センターの提供する医療の概要

- ✓ 精神科医療センターは、精神科救急医療に特化した精神科救急医療システムの中核的医療施設として、夜間・休日における全県の救急受診（年間約1,000件）と入院（約500件）のおよそ4割を受け入れている。
- ✓ また、24時間体制の電話相談を実施しており、精神科救急情報センターとしての役割を担うとともに、精神科医療技術者の教育病院として、研修体制の充実を図っている。

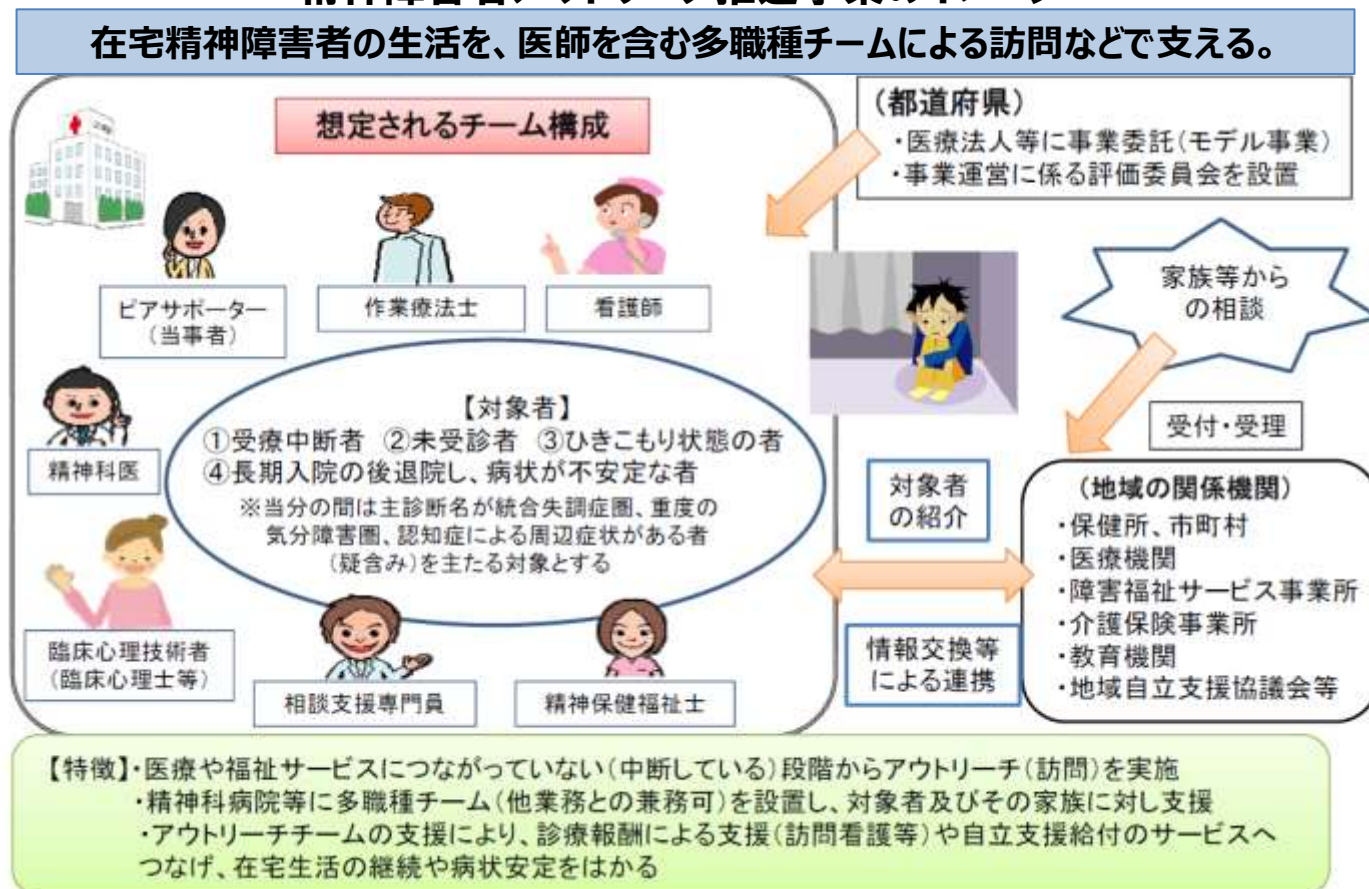


1. 精神科医療センターの担う役割

1) 精神科医療センターの提供する医療の概要

- ✓ 厚労省の推進する精神障害者アウトリーチ推進事業にも取り組んでいる。
- ✓ 精神科医療センターは主として在宅精神患者を対象とし、多職種チームによる訪問活動を実施することで、在宅生活の継続を支援するとともに、病状の安定化を図ることで再入院を抑制し、緊急性の高い患者のための病床の有効活用を推進している。

精神障害者アウトリーチ推進事業のイメージ



2) 精神科医療センターの医療圏別入院患者数の状況

✓ 精神科医療センターの入院患者は、東葛南部、千葉、東葛北部居住者が8割弱を占めている。

医療圏別実入院患者数(H26)

医療圏	実入院患者数	構成比	積上げ構成比
東葛南部	148	37.1%	37.1%
千葉	119	29.8%	66.9%
東葛北部	43	10.8%	77.7%
印旛	27	6.8%	84.5%
千葉県外	24	6.0%	90.5%
山武長生夷隅	12	3.0%	93.5%
市原	12	3.0%	96.5%
その他県内	6	1.5%	98.0%
君津	6	1.5%	99.5%
香取海匝	2	0.5%	100.0%
総計	399	100.0%	-

- ✓ 平成25年度から27年度にかけて、医業収支・経常収支共に減少傾向にあり、いずれも中期計画の目標値を下回っている。要因としては、外来診療単価・外来患者数の減少による外来収益の減少が挙げられる。
- ✓ 一方、平均在院日数の短縮等により、急性期比率が向上し入院診療単価が増加している。

区 分		平成25年度	平成26年度	平成27年度
		実績	実績	実績
収益	医業収益	1,127	1,078	1,040
	入院収益	561	584	574
	入院診療単価	33,014	34,159	35,179
	延入院患者数	16,899	16,788	16,311
	(参考)手術件数	-	-	-
	外来収益	558	487	458
	外来診療単価	16,140	14,411	14,589
	延外来患者数	34,870	34,047	31,372
	(参考)紹介件数	-	-	-
	医業外収益	532	510	519
特別利益	0	1	0	
収益 計		1,660	1,588	1,559
費用	医業費用	1,388	1,444	1,466
	給与費	799	946	916
	材料費	353	280	297
	薬品費	328	257	272
	診材費	8	7	9
	経費	195	170	205
	医業外費用	26	49	11
	特別損失	49	1	0
費用 計		1,464	1,495	1,477
医業収支		-260	-366	-426
経常収支		245	94	82

平成28年度	
当初目標	平成27年度実績 に対する達成率
1,292	80.5%
597	96.1%
34,400	105.3%
17,352.0	94.0%
-	-
-	-
19,540	84.9%
35,230	89.0%
-	-
546	95.0%
0	-
1,837	84.8%
1,595	108.8%
921	100.5%
453	152.1%
422	155.0%
9	98.1%
187	91.2%
17	159.7%
0	-
1,612	109.2%
-303	71.2%
225	36.4%

達成率95%未満 100%未満

100%以上 105%以上

※表中の各項目の合計値は、四捨五入の関係で一致しないことがある。

出典：中期経営計画実績および目標データ

単位：百万円

- ✓ ベテラン医師の退職・開業等により、新外来患者数は目標値を大きく下回っている。
- ✓ 病床利用率が90%前後で推移しているため、年間平均の空床は5床程度である。精神科救急の受け入れ用の病床を確保しておく必要があり、病床の運用が難しい側面がある。

区 分		平成25年度	平成26年度	平成27年度
		実績	実績	実績
新入院患者数	(人)	405	399	441
新外来患者数	(人)	345	367	319
病床利用率	(%)	92.6	92.0	89.1
平均在院日数	(日)	41.6	42.1	36.9
医師数	(人)	12	14	13
医業収支比率	(%)	79.9	73.5	70.9
経常収支比率	(%)	117.4	106.3	105.6
給与費比率	(%)	70.9	87.8	88.1
材料費比率	(%)	31.3	26.0	28.6
経費比率	(%)	17.3	15.8	19.7
紹介率	(%)	53.6	54.5	-

平成28年度	
当初目標	平成27年度実績 に対する達成率
400	110.3%
620	51.5%
95.1	93.7%
43.0	116.5%
-	-
79.3	89.4%
114.0	92.6%
71.3	81.0%
35.0	122.5%
14.5	73.5%
45.0	-

 達成率95%未満

 100%未満

 100%以上

 105%以上

1) 入院、外来別の診療統計

- ✓ 平成27年度の外来診療単価は平成25年度と比較し、8.8%減少している
- ✓ 平成27年度の入院延患者数は平成25年度と比較し、3.5%減少している。
- ✓ 平成27年度の外来患者数は平成24年度と比較し、延数で10.0%、新患者数で7.5% それぞれ減少している。

診療単価(入院/外来)

	診療単価				比較 対平均 (H27)	増減		
	H25	H26	H27	平均		H25-H26	H26-H27	H25-H27
入院	33,180	34,785	35,179	34,296	2.3%	4.8%	1.1%	6.0%
外来	15,989	14,301	14,589	14,946	▲ 2.5%	▲ 10.6%	2.0%	▲ 8.8%

入院患者数(延べ/新)

	入院患者数				比較 対平均 (H27)	増減		
	H25	H26	H27	平均		H25-H26	H26-H27	H25-H27
延患者	16,899	16,788	16,311	16,666	▲ 2.1%	▲ 0.7%	▲ 2.8%	▲ 3.5%
新患者	405	399	441	415	6.3%	▲ 1.5%	10.5%	8.9%

外来患者数(延べ/新)

	外来患者数				比較 対平均 (H26)	増減		
	H25	H26	H27	平均		H25-H26	H26-H27	H25-H27
延患者	34,870	34,047	31,372	33,430	▲ 6.2%	▲ 2.4%	▲ 7.9%	▲ 10.0%
新患者	345	367	319	344	▲ 7.2%	6.4%	▲ 13.1%	▲ 7.5%

3. 精神科医療センターの経営分析の主要ポイント

2) 経路機関別及び住所別外来新規患者数

- ✓ 経路機関別の外来新規患者数を、平成27年度と平成24年度で比較すると、精神科の病院・クリニックを経由する患者が38.4%減少（99人→61人）している。
- ✓ 住所別外新規患者数を平成27年度と平成24年度で比較すると、千葉市を住所とする患者が25.6%減少（199人→148人）している。

経路機関別外来新規患者数

	経路機関別外来新規患者					増減				
	H24	H25	H26	H27	平均	対平均(H27)	H24-H25	H25-H26	H26-H27	H24-H27
救急隊	70	48	63	71	63	12.7%	▲ 31.4%	31.3%	12.7%	1.4%
警察	189	170	204	185	187	▲ 1.1%	▲ 10.1%	20.0%	▲ 9.3%	▲ 2.1%
精神科	99	52	41	61	63	▲ 3.2%	▲ 47.5%	▲ 21.2%	48.8%	▲ 38.4%
一般科	30	31	29	30	30	0.0%	3.3%	▲ 6.5%	3.4%	0.0%
保健所	31	23	41	35	33	6.1%	▲ 25.8%	78.0%	▲ 14.6%	12.9%
その他	19	13	15	14	15	▲ 6.7%	▲ 31.6%	15.4%	▲ 6.7%	▲ 26.3%
なし	150	118	106	213	147	44.9%	▲ 21.3%	▲ 10.2%	100.9%	42.0%
合計	588	455	499	476	505	▲ 5.7%	▲ 22.6%	9.70%	▲ 4.6%	▲ 19.5%

住所別外来新規患者数(保健所管内別)

	住所別外来新規患者					増減				
	H24	H25	H26	H27	平均	対平均(H27)	H24-H25	H25-H26	H26-H27	H24-H27
千葉市	199	169	155	148	169	▲ 14.9%	▲ 15.1%	▲ 8.3%	▲ 4.5%	▲ 25.6%
船橋市	46	34	51	48	45	9.1%	▲ 26.1%	50.0%	▲ 5.9%	4.4%
習志野市	54	51	66	51	56	▲ 10.5%	▲ 5.6%	29.0%	▲ 22.7%	▲ 5.6%
市川市	38	37	40	33	37	▲ 13.2%	▲ 2.6%	8.1%	▲ 17.5%	▲ 13.2%
松戸市	25	24	38	45	32	55.2%	▲ 4.0%	58.3%	18.4%	80.0%
柏市	20	20	19	11	18	▲ 45.0%	0.0%	▲ 5.0%	▲ 42.1%	▲ 45.0%
野田市	2	3	3	4	3	33.3%	50.0%	0.0%	33.3%	100.0%
印旛	35	30	47	40	38	8.1%	▲ 14.3%	56.7%	▲ 14.9%	14.3%
香取	3	2	5	3	3	0.0%	▲ 33.3%	150.0%	▲ 40%	0.0%

出典：千葉県精神科医療センター年報データ

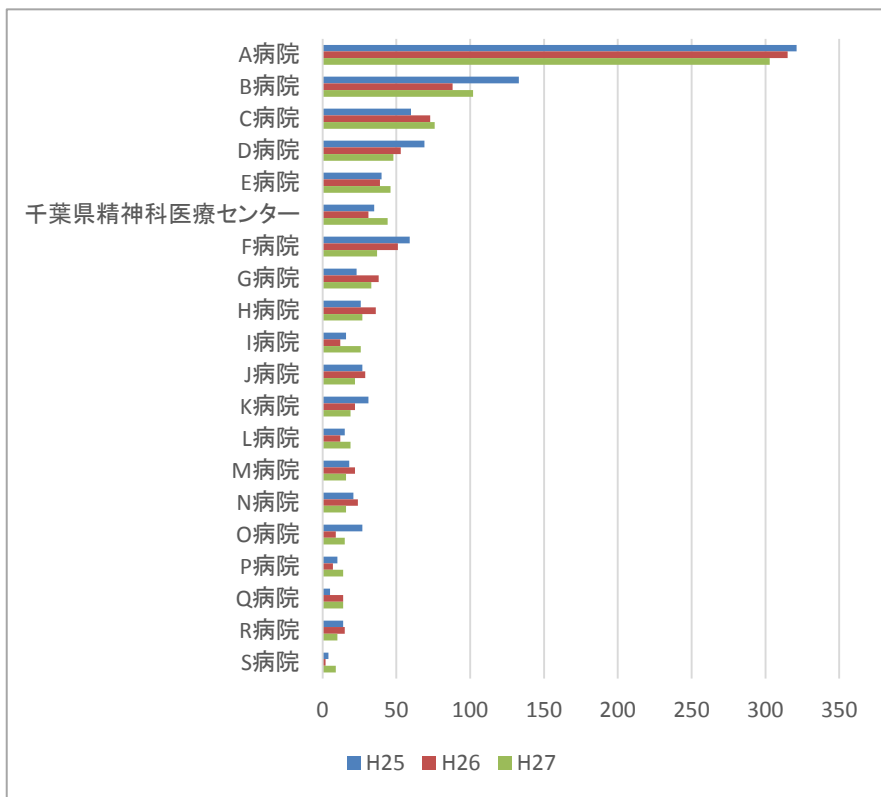
3. 精神科医療センターの経営分析の主要ポイント

3) 千葉県救急隊経由 医療機関別精神救急受け入れ数

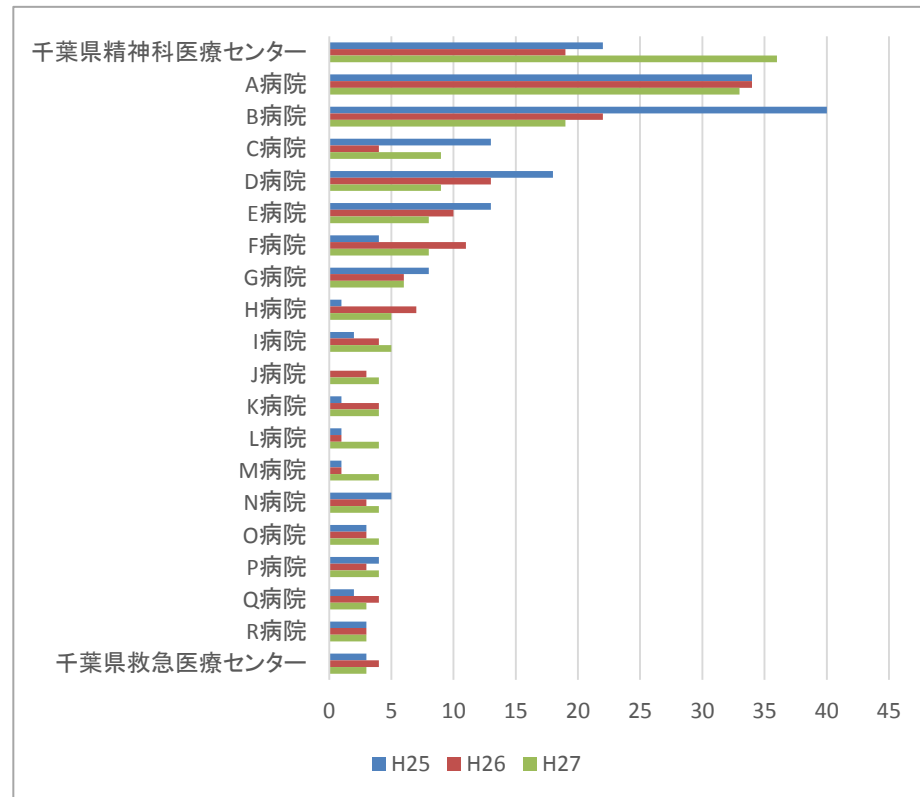
- ✓ 千葉市の救急隊経由の軽症・中等症精神患者数は、H25-27で減少傾向にある。
- ✓ 精神科医療センターは、中等症の精神救急において受入数が第1位であり、精神科三次機関としての役割を果たしていると言える。

千葉市の医療機関別・重症度別救急患者数の状況(単位:件)

<軽症・医療機関別・上位20>



<中等症・医療機関別・上位20>



合計	H25	H26	H27	増加率
	1,234	1,117	1,121	-9.2%

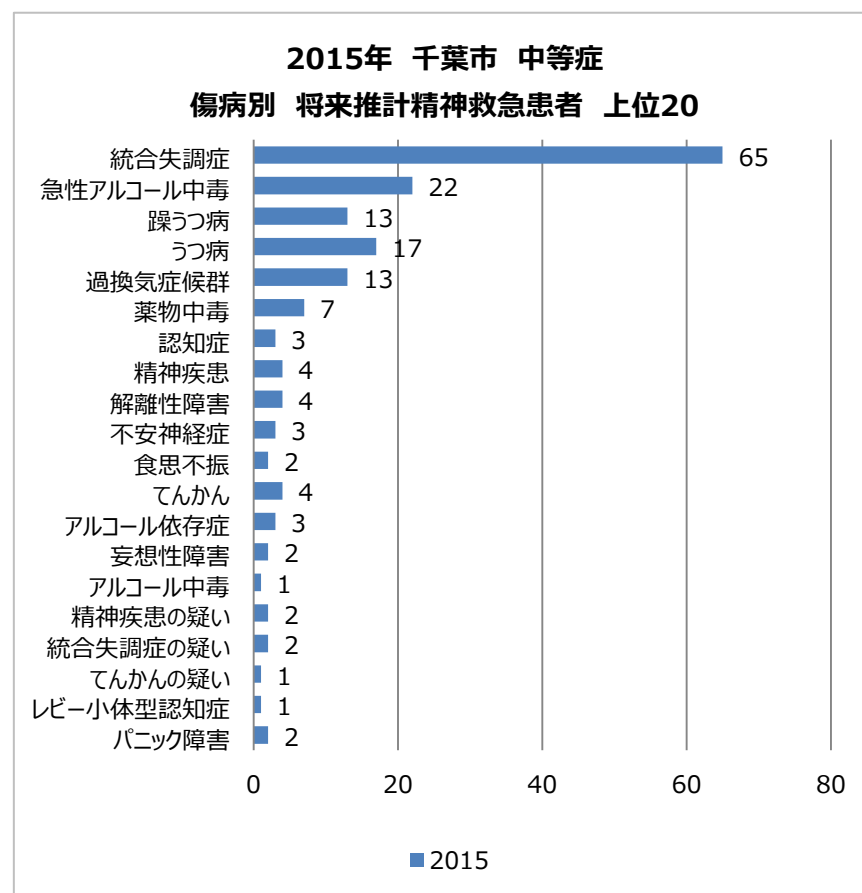
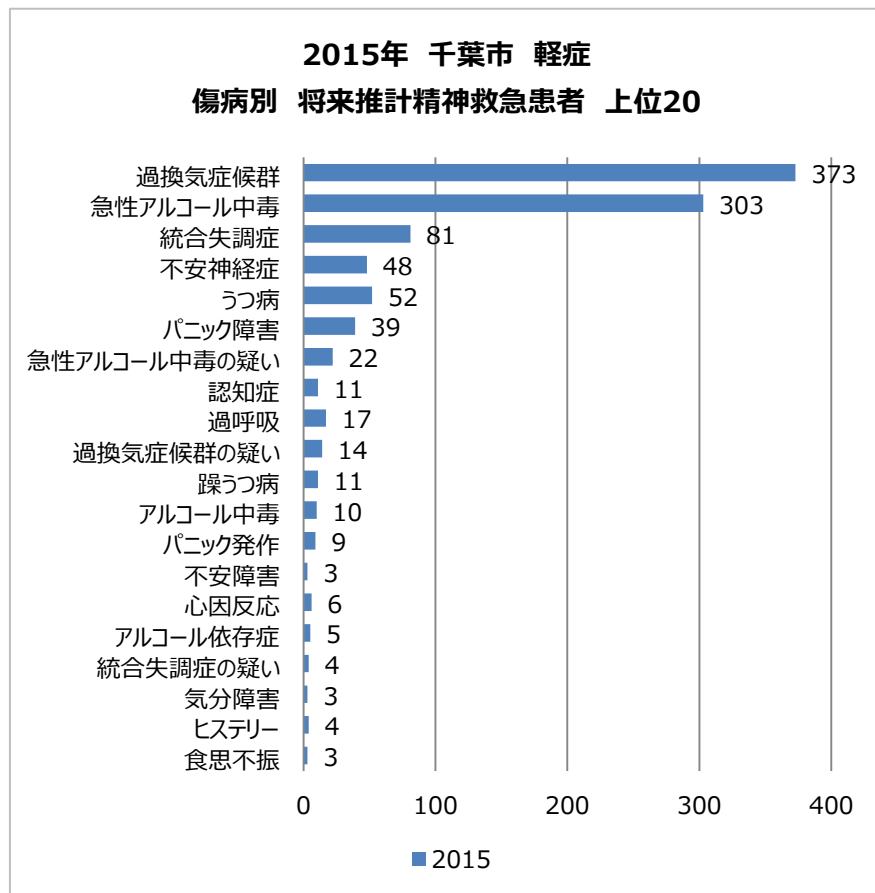
合計	H25	H26	H27	増加率
	243	226	214	-11.9%

出典：千葉市救急搬送データ

3. 精神科医療センターの経営分析の主要ポイント

4) 千葉市救急隊経由 精神救急患者数内訳

- ✓ 千葉市の救急隊経由の精神救急患者は、将来的には軽症患者は微減、中等症患者はほぼ横ばいの見込み。
- ✓ 統合失調症、急性アルコール中毒、過換気症候群、うつ病、躁うつ病の患者が多いと考えられる。



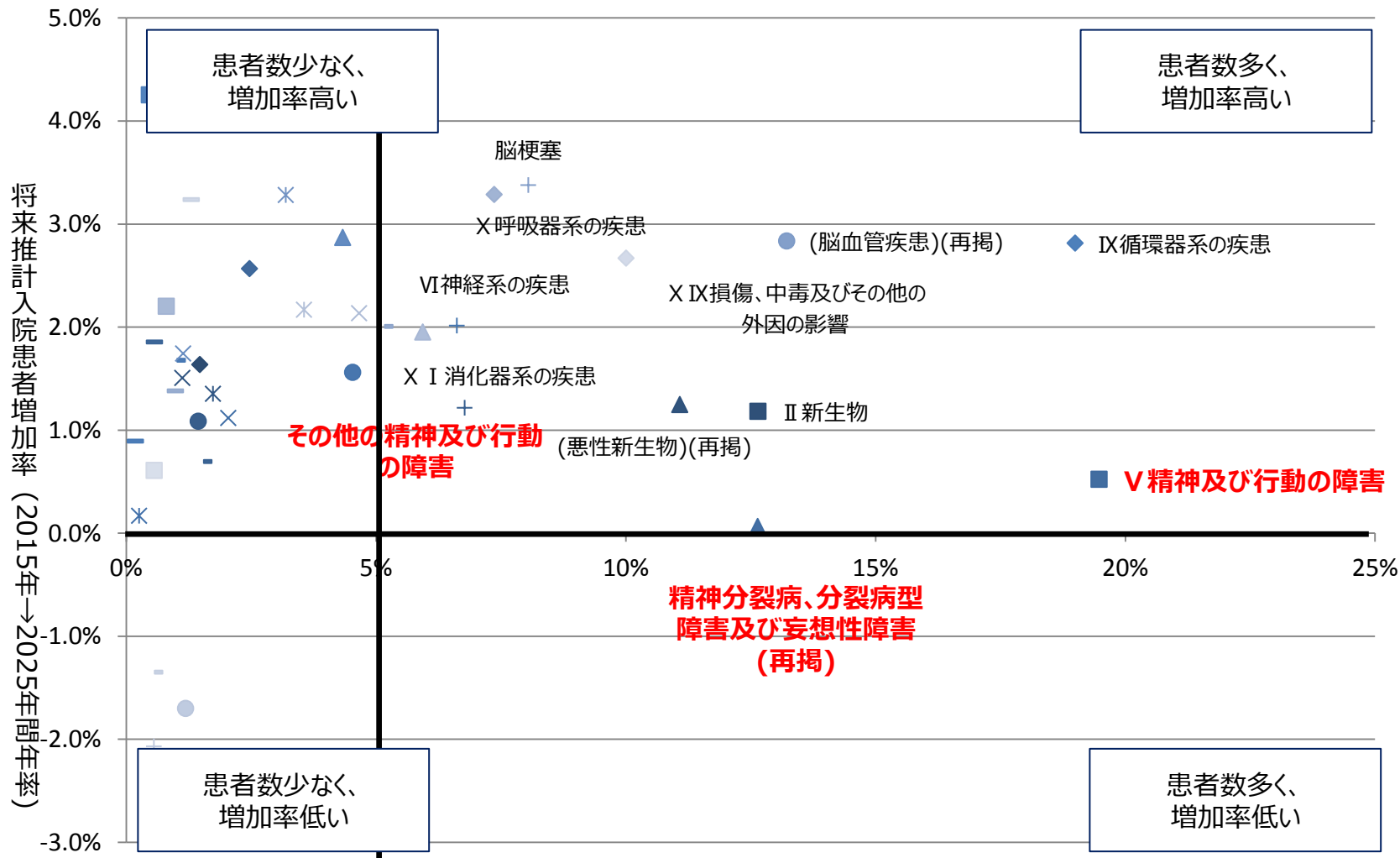
合計	2015
	1,121

合計	2015
	214

5) 千葉県の将来推計患者数（精神領域のみ赤字表示）

✓ 精神科医療センターの主な診療対象領域である精神及び行動の障害は、全体としては微増に留まる見込みである。

千葉県の将来推計入院患者及び増加率



出典：国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（都道府県・市区町村）」、厚生労働省「平成26年患者調査」

精神科救急医療センター機能

- ✓ 精神科医療センターは、全国に先駆け、精神科救急に特化した短期集中治療型病院として設立され、精神疾患患者に対して短期入院・在宅ケアを主体とした医療を提供している。
- ✓ また、休日・夜間を問わず、措置入院・応急入院・医療保護入院といった精神科救急基幹病院が対応できないケースに対応している。

精神科救急情報センター機能

- ✓ 夜間休日を含め24時間365日、精神科救急医療相談に対応する精神科救急情報センターとしての機能を担っている。
- ✓ この取組みにより、千葉市内をはじめ、他の精神病院との間で精神科救急医療のスムーズな連携が図れており、県の精神科救急事業を牽引している。

身体合併症への対応

- ✓ 身体合併症への対応など、精神疾患と身体疾患を併せて治療できる医療連携体制の構築に取り組んでいる。現在、救急医療センターとの統合が計画されており、更なる連携体制の強化が求められる。

地域生活の継続のための取り組み

- ✓ アウトリーチ支援も含めた患者の地域移行へ向けて、外来診療及び通院患者に対する医療的支援体制・機能の更なる拡充が期待されている。

教育病院としての機能

- ✓ 県内外から多数の医師、看護師、精神保健福祉相談員、作業療法士などの研修生を受け入れており、千葉県における精神科医師を始めとする医療技術者の確保、スキルアップのための教育病院としての役割を果たしている。

新入院患者の確保

- ✓ 精神科医療センターは、精神疾患患者に対し、短期入院・在宅ケアを主体とした医療を提供している。これにより、平均在院日数は年々短縮傾向にある。
- ✓ 疾患別では、統合失調感情障害の患者数が最も減少している。特に新入院患者数が減少しており、新入院患者の確保が課題である。
- ✓ 病床利用率が90%前後で推移しているため、年間平均の空床は5床程度である。精神科救急の受け入れ用の病床を確保しておく必要があり、病床の運用が難しい側面がある。救命救急センターとの統合により精神・身体合併症患者に対するよりシームレスな医療提供により、病床運用の効率化を図ることが期待される。

外来患者の確保

- ✓ ベテラン医師2名の退職及び開業も影響し、外来患者が年々減少傾向にある。
- ✓ 医療圏内に多くの精神科救急医療を担う精神病院が増加してきており、競合環境が厳しくなっている。そのため、精神科医療機関経由の患者が最も減少している。
- ✓ また、デイホスピタル利用者数の落ち込みが顕著である。(平成27年度は前年比23%減少)